

農業政策の方向性は

町 事業導入に向け対応を進める

問 今年度の国の農業関連の補正予算が大幅に伸びたが、当町で取り組む関連事業は。

農林振興課長 TPP対策や各種事業導入に向け内容を精査し、対応を進めたい。
問 町単独事業の優良牛導入事業を、育種改良の観点から保留牛へも拡大するなどさらに強化し、継続

する考えは。

農林振興課長 JAからも県に重点要望として出していることは、情報として共有している。

この事業のあり方について、JAや酪農協と協議を進めたい。

問 町内全域を中山間地域に指定する考えは。

農林振興課長 法的に指定

要件には合致していないが、指定は当町農業の一助になる。

国や県に要件見直しを要望していきたい。

問 平成29年に開催される、全国和牛能力共進会の出品者への対応は。

農林振興課長 町も積極的に関わり、必要な支援を検討したい。

消防団の人員確保は

町 必要性の理解を深める

問 団員確保や出勤率低下の問題は、職業や生活環境の変化によるものが多い。

他にも自分の地域を守る意識の低下があると考える

が、町の考えは。

総務課長 若者世代の減少もある。機能別消防団員制度の取り組みなど、消防団に対する理解と必要性を認識してもらえよう取り組む。

問 団員の運転免許対応の進捗状況は。

総務課長 平成29年3月12日に新制度に移行する。調査を進めたが、当面は必要な免許は確保されている。新制度で車両の運転免許

が必要な場合、助成制度も含めて対応していきたい。

問 オートマチック限定免許の対応は。

総務課長 順次、車両を更新する際、対応が必要になる。

問 救急法講習や救命士講習が必要と考えるが対応は。

総務課長 水防訓練時に、負担の無いよう取り入れていきたい。

高久淳平



ポンプ操法競技会



長崎大会一等賞の「ももこ号」と渡辺靖さん家族